

編 集 後 記

◆『国際経営フォーラム』No.11をお届けします。本号の特集は「中小企業経営と地域」です。照屋グループの論文は、平塚商工会議所の支援のもと、平塚市の中小製造企業2社に関する経営診断を試みたものです。実践の学としての経営・会計学を現場の経営のなかなでどう活かせるのか、また診断結果を地域社会の活性化にどうつなげていくのか、その果敢な試みの第1段として着目されます。行川論文は、中小企業が品質システム規格ISO9000と環境マネジメントシステムISO14000を認証取得する意味をマーケティングの立場から論じたものです。流行にのった安易な認証取得は事後コスト面でかえって重荷になることが指摘され、取得にあたっては企業みずからの市場環境をどのように変えられるかという経営判断が不可欠の前提であることが強調されています。平野論文は、中小企業における業務プロセスの再構築とその情報化を論じたものです。情報技術を利用した業務のシステム化に関する最新の動向を事例を織り込みながら紹介するとともに、情報化推進のために留意すべき事項を具体的に提言しています。行川論文とおなじく、問題解決・提案型の有益な論文といえます。つづく「誌上フォーラム」では、海老澤論文が未来指向型企業の理念モデルを提示したあと、二つのパネルディスカッションで未来指向型企業経営と地域経営のあり方について、現役の中小企業経営者を交えた活発な討論が展開されています。

◆以上簡単ながら、本号の特集について紹介しました。この特集が、地域において中小企業がそれぞれ特徴ある経営をさらに伸ばしていくことに資し、また同時にそれを通して地域全体の活性化を誘発するような自由な連合体が創出されていく上でのなんらかのヒントとなれば幸いです。

◆お気付きのように、本号から従来の縦組み2段をあらため、横組み1段にしました。文字間隔もややつめて1ページの文字数を多くし、その分1論稿当たりの制限枚数も増やしました。より充実した内容の『フォーラム』になっていればと思います。紙質もかえましたので、読みやすさの点で改善の余地があるかもしれません。ご意見を下されば幸いです。

◆最後になりましたが、本号に論稿をお寄せくださった方を以下にご紹介いたします。(後藤 伸)

執筆者 (掲載順)

照屋 行雄……神奈川大学経営学部教授	ティオフィラス・アサモア
行川 一郎……神奈川大学経営学部教授	……神奈川大学経営学部助教授
平野 健次……雇用・能力開発機構 高度ポリテクセンター	金 字烈……神奈川大学経営学研究科 博士後期課程
久保 幸年……東京証券取引所上場審査部長	鈴木 そよ子…神奈川大学経営学部教授
海老澤 栄一…神奈川大学経営学部教授	大橋 哲……神奈川大学経営学部助教授
橋本 光憲……神奈川大学経営学部教授	柳田 仁……神奈川大学経営学部教授
衣笠 洋輔……神奈川大学経営学部教授	石積 勝……神奈川大学経営学部教授

国際経営フォーラム編集委員 後藤 伸

国際経営フォーラム No.11 ISSN 0915-8235

発行 2000年3月31日

(年一回発行) 非売品

編集 国際経営研究所

発行人 照屋 行雄

発行所 神奈川大学国際経営研究所

〒259-1205 平塚市土屋2946

電話 (0463) 59-4111 (代表)

FAX (0463) 58-5688

e-mail : kokusaiken@adm.kanagawa-u.ac.jp

印刷 カサハラ印刷株式会社

〒259-1147 伊勢原市白根475-1

- ◆本誌ご希望の方は、送料実費として切手270円分を添えて、上記の国際経営研究所の編集委員宛お申し込みください。在庫切れの節はご容赦ください。
- ◆本誌掲載記事・論文の一部または全部の転載は、事前に筆者または国際経営研究所から直接紙面による許可を得た場合に限られます。